

令和3年度 第11回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和4年1月4日（火） 11時00分から11時45分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、代田教育長、櫻井総務部長、塚平総合政策部長、細田リニア推進部長、塚平市民協働環境部長、高山健康福祉部長、串原産業経済部長、星野産業経済部参事、米山建設部長、毛利建設部参事、土屋上下水道局長、宮内市立病院事務局長、原田市長公室長、田中危機管理室長、北原会計管理者、和泉議会事務局長、松下教育委員会参与、南信州広域連合吉川事務局長、佐々木財政課長、林企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

先ほど仕事始めの式の訓示では、先を読む力について申し上げた。先を読み、スピード感をもってことにあたるとき、どうしても先の読み誤りや拙速という言葉に恐れてしまうが、ぜひ前向きにトライしてほしい。また、仕事始めにあたってもうひとつ心にとめてほしいのは、過去への責任と未来への責任である。今このときに不作為でもやり残してしまった仕事は、未来への責任として残る。とくにコロナ禍を理由にやめたことが、結果的に未来への責任を果たせていないことにならないように、不作為の責任の大きさを考え、躊躇せず、しっかりと取り組んでいただきたい。

<副市長>

新年あけましておめでとうございます。

市長の先を読む力というのに重ねて、ひとこと申し上げる。コロナ禍で大変な状況にある中ではあるが、コロナ前に戻ることは決してないと思えること。コロナとうまく付き合いながら、自分たちの仕事の仕方も見直していく、そういう1年にしたいと思う。よろしくお願ひします。

<教育長>

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

教育委員会では、年末に私が四文字熟語をしたためて、今年の目標としている。今年は「雲外蒼天」とした。様々な困難も努力をすることで希望が見えてくるという意味である。コロナ禍が2年続き、完全収束は未だ難しいが、我々はコロナの状況や対処もわかってきている。これまでの経験も踏まえ、明るい未来に踏み出せる年にしたい。飯田の言葉でいうビルドバックベター、より良いアフターコロナを、それぞれの事業の本質に立ち返り、皆が希望に満ちて、楽しく仕事ができる一年にしたい。よろしくお願ひします。

2 その他、連絡事項

3 閉会